

文部科学省私立大学戦略的基盤研究形成支援事業  
「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」  
Annual Meeting-2016 報告書

日時:2016年9月28日(水)13:30~18:00

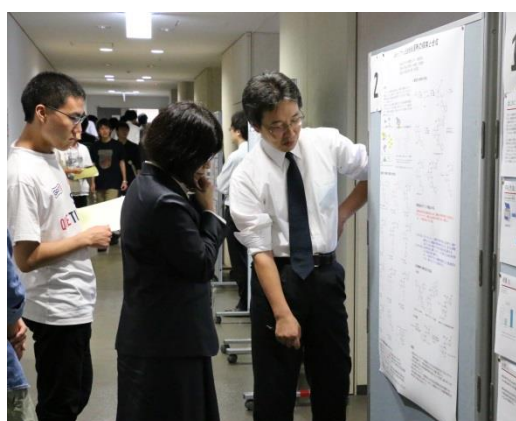
場所:京都薬科大学 愛学ホール

参加者数:138名(職員 28名、学部生・大学院生 110名)

本私立大学戦略的基盤研究形成支援事業プロジェクト「新規分子標的治療薬創薬に向けた大学発ベンチャー基盤の確立」では、9分野1センターから12名、広域大学知的財産アドバイザー1名と学外の2施設から2名、計15名が参画している。2016年9月28日に開催された Annual Meeting-2016 では、昨年度から一年間の進捗報告会(口頭発表、ポスター発表)と2つの特別講演を行い、本学学部生、大学院生、教職員および他学教員を併せて138名が参加した。

開会に際して、後藤直正学長から本プロジェクトは、学内共同研究推進の使命だけではなく、学術的意義も有することの説明があり、本プロジェクトへの期待を開会の辞としてご挨拶いただいた。引き続き、本プロジェクトの研究代表者である芦原が、本プロジェクトの概要を説明した。

次に、第一部「共同研究の進捗報告」として2題口頭発表、第二部として「各研究参画者の進捗報告」が参画研究者から4演題の発表がなされた。どの口頭発表においても活発な議論がなされた。引き続き愛学館A32講義室前で、ポスター発表(10演題)を行った。ポスター発表においても、学部学生・大学院生を交えて活発な質疑応答がなされた。



次に、AMED 創薬支援戦略部 創薬コーディネーター 中山 敦先生から、特別講演(1)「アカデミア発研究成果を医薬品に結びつけるための知的財産戦略」を、京都府立医科大学 大学院医学研究科 分子標的癌予防医学の酒井敏行教授から、特

別講演(2)「BR 再活性化スクリーニングを用いた MEK 阻害剤 trametinib(商品名 Mekinist)の発見」をいただいた。いずれの講演にも活発な質疑応答がなされた。



清



演者

外部評価員である京都大学大学院 薬学研究科 薬品合成化学分野 高須清誠教授に、本 Annual Meeting のご講評をいただいた。

「口頭発表では分子標的治療薬のヒット・リード化合物の探索、最適化ならびに新規アッセイ方法の開発について着実に成果があがりつつあること、またポスター発表ではたくさんの学生が成果報告について熱心に演者とディスカッションする様子が見え、今後の発展が大いに期待できる。さらに本事業に参画する若手教員が研究領域の垣根を越えて親密に情報交換をしていることが目を引き、このようなよい雰囲気はプロジェクト全体の活気に波及する。今回の Annual Meeting は大成功であり、事業自体も順調に進捗していることが強く感じられた」と、極めて高い評価をいただいた。



最後に、合成・相互作用解析グループリーダー 薬品化学分野 赤路教授から、本プロジェクトのさらなる進捗を誓う言葉があり、盛会の元、本 Annual Meeting は終了した。

今後も定期的に進捗会議をもち、分子標的治療薬候補化合物の創製を目指すとともに、新たな“知の創造”に向け、本プロジェクトを遂行していく。

文責：芦原英司(研究代表者)



文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業  
新規分子標的治療薬創薬に向けた  
大学発ベンチャー基盤の確立  
2016年度 Annual Meeting

日時: 2016年9月28日 (水) 13:30 ~ 18:00

場所: 京都薬科大学・愛学ホール (A31講義室) + A32講義室前 (ポスター会場)

参加登録方法: 直接会場までお越し下さい (入場無料)。

学部生・大学院生・教職員どなたでもご自由に参加ください。

プログラム

- 13:30 開会挨拶 後藤 直正 (京都薬科大学・学長)
- 13:35 概要説明 研究代表者: 芦原 英司 (シーズ発掘・バリデーションGrリーダー)
- 13:40 口頭発表 (1) 「共同研究の進捗報告」  
芦原 英司・服部 恭尚、中田 晋・鬼頭 宏彰
- 14:10 口頭発表 (2) 「各研究参画者の進捗報告」  
小林 数也、中村 誠宏、長谷井 友尋、長谷川 功紀
- 15:10 Poster Viewing
- 15:30 特別講演 (1)  
「アカデミア発研究成果を医薬品に結びつけるための知的財産戦略」  
中山 敦 (AMED創薬支援戦略部 創薬コーディネーター)
- 16:30 特別講演 (2)  
「RB再活性化スクリーニングを用いた  
MEK阻害剤 trametinib (商品名 Mekinist) の発見」  
酒井 敏行 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 分子標的癌予防医学 教授)
- 17:25 総評  
外部評価員 高須 清誠 (京都大学大学院 薬学研究科 薬品合成化学分野 教授)
- 17:30 閉会挨拶 赤路 健一 (合成・相互作用解析Grリーダー)

本プロジェクトは、京都薬科大学独自の薬効評価系と創薬化学研究基盤を有機的に融合させ、シーズの発掘・ライセンスアウトすることを目指しています。本シンポジウムでは、採択後1年間の成果を報告します。

連絡先: 〒607-8414 京都市山科区御陵中内町5  
京都薬科大学 病態生理学分野  
芦原 英司 (研究代表者)  
TEL: 075-595-4706  
E-mail: bunshihyoteki@mb.kyoto-phu.ac.jp



薬学の未来をつくる

京都薬科大学